大正５年５月５日木藤精一郎創立

やまゆき会会報

平成 30 年２月号

例　会　報　告

比良山地：武奈ヶ岳　上級Ｃ

12 月 3 日（日）晴　担当：山田昭則　参加者 9 名

初冬の風もなく澄んだ青空の下、今日一日山歩きを楽しみたいです。スタートからいきなり急登の武奈ヶ岳山頂を経て、琵琶湖側のダケ道を下りイン谷口に下山するのであるが、歩行6時間、休憩 1 時間で約 7 時間の行程である。参加者のうち 5 名は、前回初めてリーダーをした蓬莱山と同じで山慣れしたメンバーばかりなので、上級のグレードに見合った行動をと考えて1時間歩いて休憩とし、イン谷口のバス（16 時 40 分発）に乗車することを念頭に登ることとした。

坊村から御殿山までの 2 時間弱は急な登りの連続、ゆっくりと同じペースで歩調を進め途中 1 回だけの休憩で御殿山に登った。北斜面の日陰に雪があったが風もなくよい天気で西南稜を詰めて、山頂直下の地点で昼食をとった。

昼食後に武奈ヶ岳山頂に登頂、琵琶湖は少し霞んでいるが 360 度の眺望である。武奈から北に伸びる尾根は若いときに歩いたことがあるが、また一度やってみたいと思った。イン谷口におりる時間が決まっているので写真を撮って下山することとした。コヤマノ岳を巻くルートのイブルギノコバの辺りの北斜面は積雪があった。1 時間余りで北比良峠に下り、山慣れしたメンバーばかりだから歩きはいいペースなので琵琶湖を眺めながら一息入れてダケ道を下った。登山道には落ち葉が積もっており、その下の石ころに乗ると転ぶかもしれないので注意をしながら快調な歩きでどんどん下り大山口に 16 時過ぎに着き、ここからイン谷口まで 20 分程度なのでバスの時間には間に合うことが出来た。イン谷口で歩き疲れた体をほぐすストレッチをしてバスに乗り JR 比良駅へ向かった。

健脚揃いのメンバーでリーダーとしてなんら気を使うことなく、風もなく青空のもと山歩きを楽しむことが出来、無事帰路に。

コースタイム

坊村（9:57）～御殿山（12:07～12:12）～ワサビ峠（12:18）～西南稜（12:38～13:02）～武奈ヶ岳山頂（13:17～13:31）～北比良峠（14:40～14:49）～カモシカ台（15：30～15:42）～大山口（16:09）～イン谷口・解散（16:26）

信楽大和高原：桃尾の滝～大国見山(498m)　初級 C

12 月 3 日(日)晴れ　担当:平出雄子　参加者　19 名

快晴の下、近鉄天理駅を出発、天理本通りから布留交差点へ。布留大橋から左手の山の辺の道に入って石上神宮へ。小憩の後、神宮の左手から梅林の細い道を下ると布留の高橋。バス道に出る。山の辺の道とわかれ右側を歩いていくと二本柳。豊井浄水場・下滝本と単調な舗装道路にあきる頃、「桃尾の滝」の案内標識があり左手に入ると、深山の趣ある高さ 23mの滝

についた。休憩後、再び目的地へ歩き始める。滝から少しは急坂となり、大親寺を過ぎてもしばらく続く。ゆるやかになると小さい木橋3ヶ所を渡るので注意する(下見時は、じめじめし水も少し流れていたが今日は歩き易い)。岩屋への分岐(分岐は上にもう一ヶ所あり、下山はこの地点まで戻る)を過ぎ、急坂になった所に巨石が点在し、すり抜けていくと大国見山山頂に着いた。風もなく比較的おだやかな陽の下、市街地と山々をながめつつの昼食とする。

山頂をあとに下山開始。岩屋の分岐まで戻る。落葉がつもっている道を注意深く下っていくと、大国見山登山口に出る。名阪国道の下をくぐりぬけた所で小休止。川を渡り初冬の風景を楽しみつつ岩屋集落を歩く。造り酒屋を通過すると右手上に岩屋磨崖仏があった。木々の枝が垂れ下がり線刻は定かではないが、歴史を見守り続けた風格があった。岩屋橋から名阪国道に沿う道の方に入る。(この附近、新しい道が何本も行き交い、親柱を覆う枯葉を分けて岩屋橋を確認した。)再び山の辺の道となり高架の名阪国道に沿って歩く。二つ目のトンネルをぬけるとブドウ園が左右上方にある地。少しのぼるとブドウ園の間に右に入る山道がある。ウワナリ塚古墳・石上大塚古墳・天理高校園芸地と続く山の辺の道北コースだ。気持ちよく山道をぬけると広い通り。天理教第 38 母屋が見え、様子がかわる。交差点の天理駅への指示に従って西側に曲がり、北大路から中大路へ。途中、天理教駐車場手洗いを借りて小憩。再び中大路から近鉄天理駅へ到着、解散した。

天候に恵まれた山行でした。参加者の御協力に深く感謝いたしております。ありがとうございました。

コースタイム

近鉄天理駅(9:45)～石上神宮(10:20～10:25)～二本松～桃尾の滝(11:20～11:30)～大国見山山頂(12:30～13:00)～岩屋への分岐(13:26)～名阪国道下トンネル(14:06～14:15)～岩屋町～岩屋磨崖仏～岩屋橋(14:52)～山の辺の道北コース(ウワナリ塚古墳・石上大塚古墳)～天理教第 38 母屋～北大路～中大路～近鉄天理駅(16:38)

北摂：　ポンポン山（678.8m）　初級Ｂ

12 月 10 日（日） 晴れ　担当：中村彰利　参加者：37 名

JR高槻駅からの高槻市営バス川久保行が、高槻ハイウェイウォーキング（新名神高速道路高槻 JCT・IC～川西 IC 間開通記念）の日と重なり、川久保到着が若干遅れる。バス停で 3 班に分かれ出発する。ゆるやかな川久保渓流が続く。「水声の道」登山口で衣服調整し、ポンポン山への直登につく。登山道は良く整備されており、登りではあるが水音を聞きながらの小道は楽しめた。程なくポンポン山山頂に予定時刻に着きホッとする。山頂は比較的暖かく、遅い昼食を取り展望も楽しむ。

昼食後は東海自然歩道を本山寺を目ざし下る。天狗杉で小休止。程なく本山寺につく。イチョウもモミジもすべて葉は散っていた。全員トイレを済ませ出発。山門の少し先から車道の東海自然歩道を離れ山道（本山寺古道？）に入る。落葉が積り歩きにくい箇所もあったが、静かな落葉道は多くの人が楽しめたよう。視界が開けた鉄塔敷で小休止。更に下り神峯山寺の道標箇所で古道が新名神工事で通行止（平成 30 年 4 月末まで）だったので、少しやぶこぎし神峯山寺境内に降りる。紅葉の名所も今は静か。少し暗くなりかけていたので神峯山口バス停へ急ぐ。予定どおり16時すぎライトを使わず完歩できました。皆さんのご協力に感謝します。

コースタイム

JR高槻駅(10:06)＝川久保バス停(10:50)～水声の道登山口(11:35～11:40)～ポンポン山山頂(12:45～13:20)～本山寺(14:30～14:40)～神峯山寺(15:40～15:50)～神峯山口バス停(16:10)解散

丹波高原　有馬富士　納山会　初級Ｃ

12 月 17 日（日） 晴れ　担当：浜崎邦男　参加者：35 名

JR 新三田駅に集合し今日のコースの資料を配布し、一部コース変更(新三田駅から有馬富士公園の間が荒れてコースが消えていたり、途中区画整理で通行止めが有り通れないため)の説明、サブリーダーの植松さんが準備体操をして、有馬富士公園に向かって出発。竹藪から山の中腹を通り八幡神社手前を過ぎ大池川沿いに落葉に埋まる林間の小道を抜け、福島大池西側に到着。流紋岩の露頭前から今日一番の見どころの湖面に映る「逆さ有馬富士」を見て、これより有馬富士公園内の福島大池西側園路を通り、かやぶき民家に立ち寄る。急な

有馬富士登山道を過ぎ、あじさいの小道を経由し、かえでの小道を過ぎ頂上直下、今日一番の岩場「わんぱく砦」から眼下の有馬富士公園の絶景を見て山頂(673.9m)に到着。広々とし平野越しに屏風のような六甲連山を見た後昼食をとる。

展望を楽しんだ後、急な岩場の下山路を経由して小鳥のさえずる小道を下り、見返りの小道から芝生公園に到着。小休止後花菖蒲園から水辺の講堂前で福島大池の水鳥の観察をし、ガーデン階段を通り自然学習センターに到着。ここからは忘年懇親会に不参加の方も居られるので一旦解散。

忘年懇親会に参加される方は、時間調整して八幡宮と青龍寺を見学しJR新三田駅まで案内して忘年懇親会に合流。

コースタイム

JR 新三田駅(9:30～9:55)～福島大池西側(10:25)～わらぶき民家(10:40～10:55)～有馬富士登山道(11:00)～あじさいの小道(11:20)～かえでの小道(11:25)～わんぱく砦(11:30)～有馬富士山頂(11:40～12:20)～小鳥のさえずる小道(12:30)～山頂広場(12:37)～芝生広場(12:55～13:30)～花菖蒲園(13:40)～水辺の講堂(13:55)～ガーデン階段(13:55)～自然学習センター・パークセンター一旦解散(14:00)

ガーデン階段(15:05)～流紋岩の露頭(15:10)～八幡宮(15:20～15:25)～青龍寺(15:30～15:35)～JR新三田駅(15:50)解散